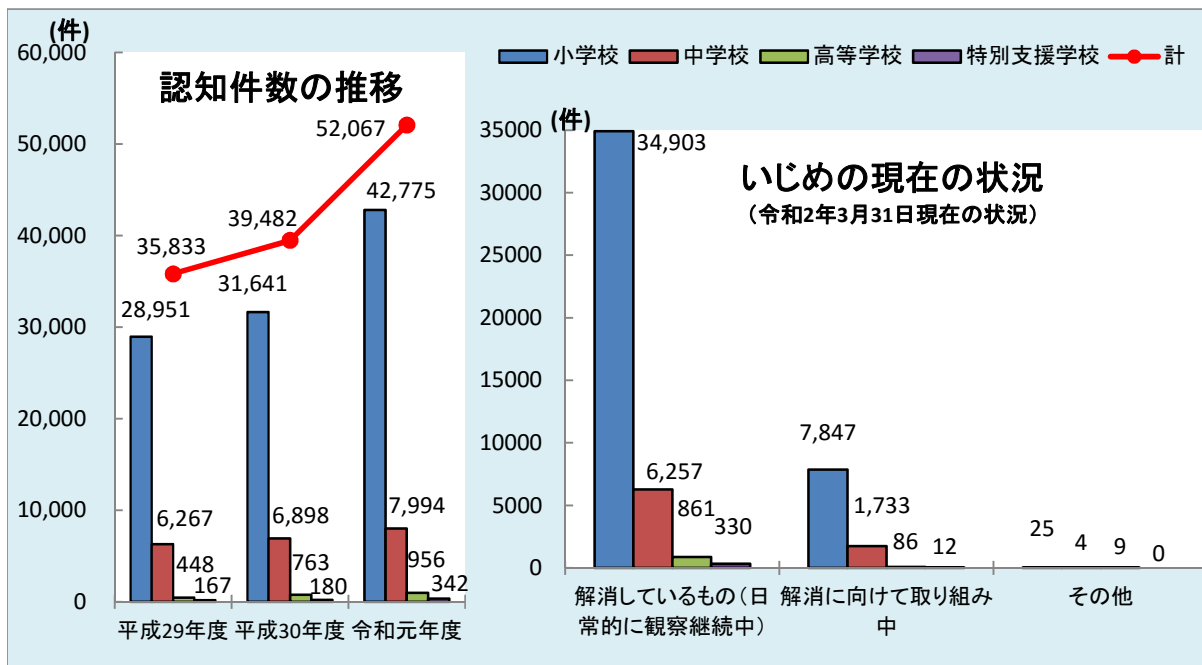


令和元年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減【%】	一校平均 件数
			校数	割合(%)			
小学校	平成29年度	796	724	91.0%	28,951	4,075【16.4%】	36.4
	平成30年度	794	745	93.8%	31,641	2,690【9.3%】	39.9
	令和元年度	781	758	97.1%	42,775	11,134【35.2%】	54.8
中学校	平成29年度	379	352	92.9%	6,267	△109【△1.7%】	16.5
	平成30年度	379	362	95.5%	6,898	631【10.1%】	18.2
	令和元年度	377	368	97.6%	7,994	1,096【15.9%】	21.2
高等学校	平成29年度	146	113	77.4%	448	195【77.1%】	3.1
	平成30年度	146	129	88.4%	763	315【70.3%】	5.2
	令和元年度	145	131	90.3%	956	193【25.3%】	6.6
特別 学校 支援	平成29年度	43	19	44.2%	167	55【49.1%】	3.9
	平成30年度	43	22	51.2%	180	13【7.8%】	4.2
	令和元年度	43	29	67.4%	342	162【90%】	8.0
計	平成29年度	1,364	1,208	88.6%	35,833	4,216【13.3%】	26.3
	平成30年度	1,362	1,258	92.4%	39,482	3,649【10.2%】	29.0
	令和元年度	1,346	1,286	95.5%	52,067	12,585【31.9%】	38.7

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制127校、定時制17校、通信制1校の合計である。



※いじめの定義(平成25年度一部改訂)

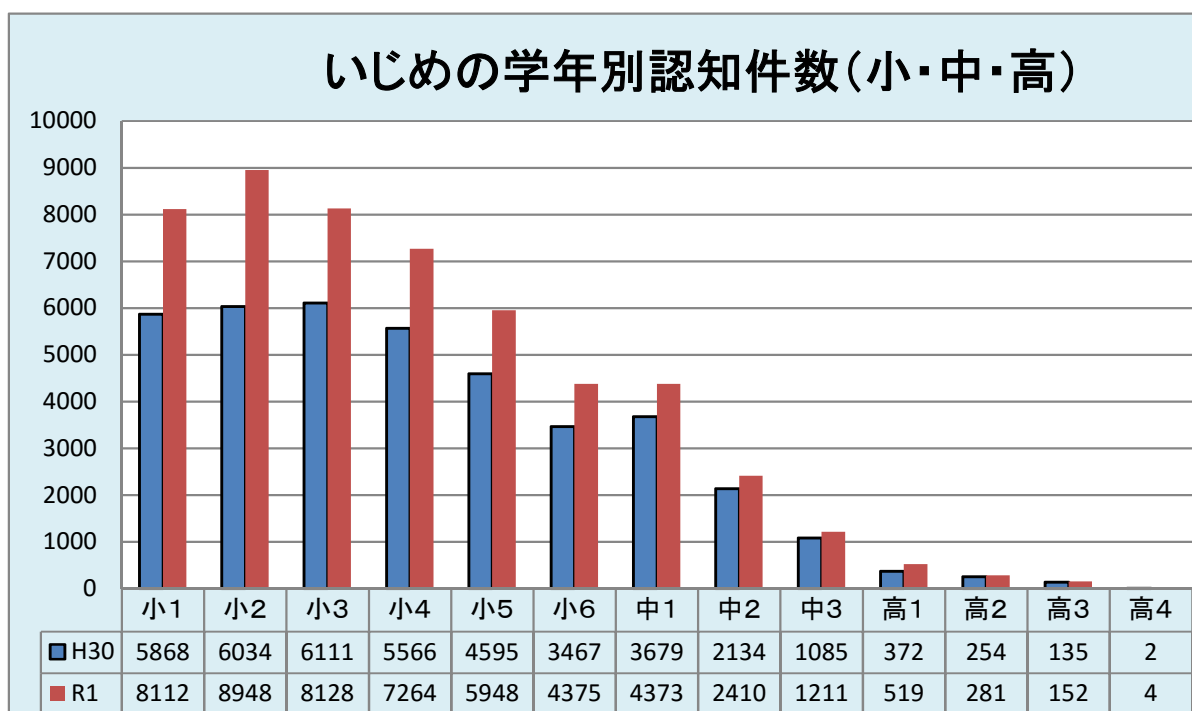
本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

2 いじめの認知件数の学年別, 男女別内訳

(単位:件)

区分		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
小学校	男子	4,653	4,961	4,410	4,015	3,417	2,583	24,039	
	女子	3,459	3,987	3,718	3,249	2,531	1,792	18,736	
	小計	8,112	8,948	8,128	7,264	5,948	4,375	42,775	
中学校	男子	2,655	1,327	635	—	—	—	4,617	
	女子	1,718	1,083	576	—	—	—	3,377	
	小計	4,373	2,410	1,211	—	—	—	7,994	
高等学校	男子	263	130	79	3	—	—	475	
	女子	256	151	73	1	—	—	481	
	小計	519	281	152	4	—	—	956	
特別支援学校	小学部	男子	5	4	2	6	22	13	52
		女子	0	1	2	10	5	6	24
		小計	5	5	4	16	27	19	76
	中学部	男子	11	15	4	—	—	—	30
		女子	6	1	3	—	—	—	10
		小計	17	16	7	—	—	—	40
	高等部	男子	98	38	47	—	—	—	183
		女子	13	20	10	—	—	—	43
		小計	111	58	57	—	—	—	226
特別支援学校計		133	79	68	16	27	19	342	
合計		13,137	11,718	9,559	7,284	5,975	4,394	52,067	

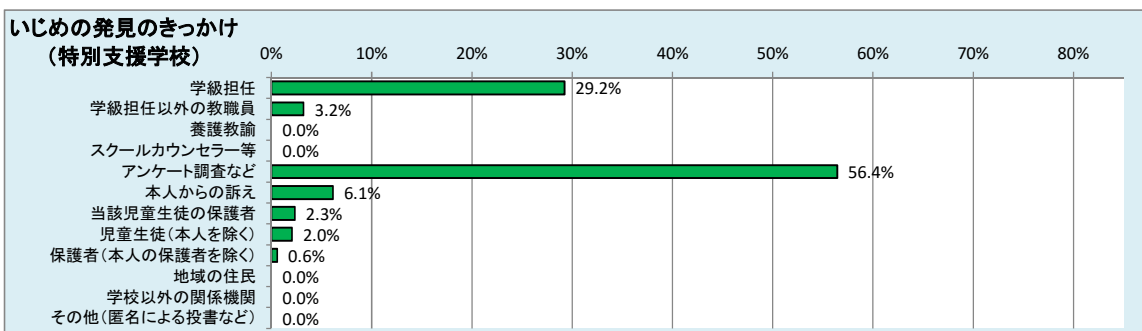
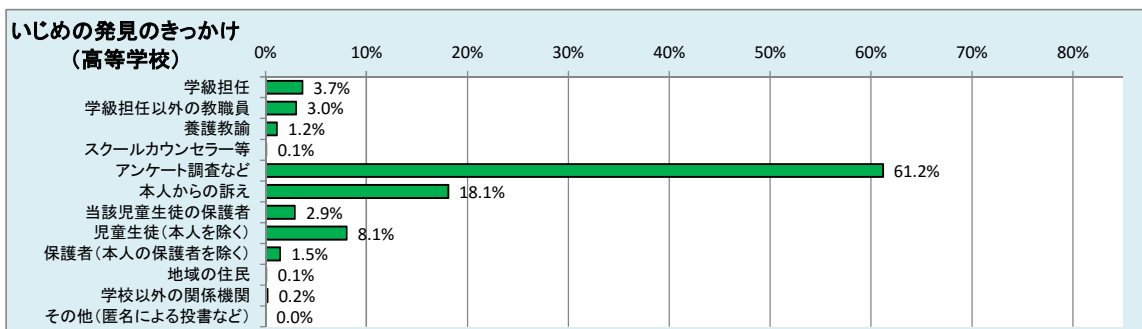
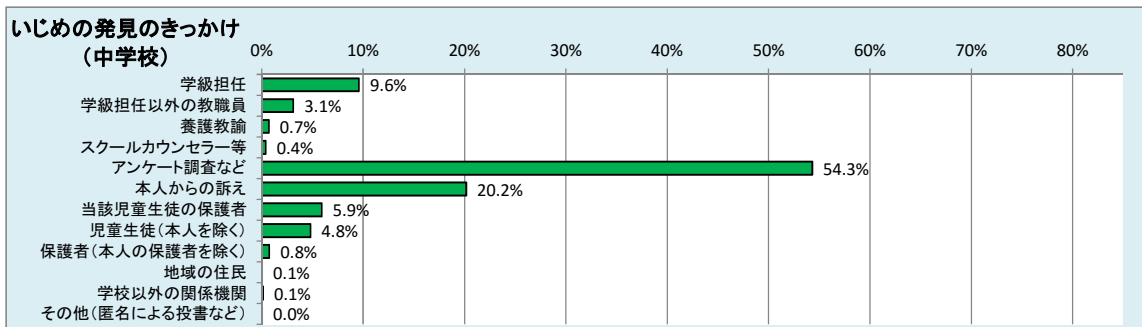
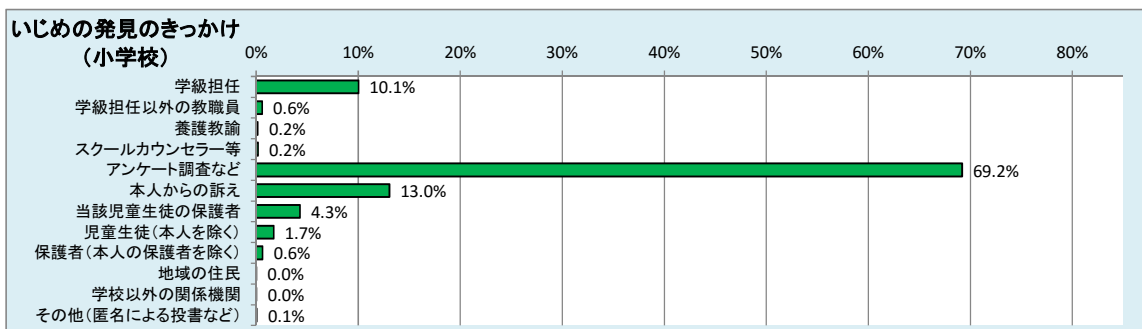


(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	
学校の教職員等が発見	34,295	5,446	661	304	40,706	
内訳	学級担任	4,299	767	35	100	5,201
	学級担任以外の教職員	252	250	29	11	542
	養護教諭	72	57	11	0	140
	スクールカウンセラー等	75	31	1	0	107
	アンケート調査など	29,597	4,341	585	193	34,716
学校の教職員以外からの情報により発見	8,480	2,548	295	38	11,361	
内訳	本人からの訴え	5,579	1,613	173	21	7,386
	当該児童生徒の保護者	1,836	473	28	8	2,345
	児童生徒(本人を除く)	737	385	77	7	1,206
	保護者(本人の保護者を除く)	273	60	14	2	349
	地域の住民	7	4	1	0	12
	学校以外の関係機関	18	11	2	0	31
	その他(匿名による投書など)	30	2	0	0	32
	計	42,775	7,994	956	342	52,067



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

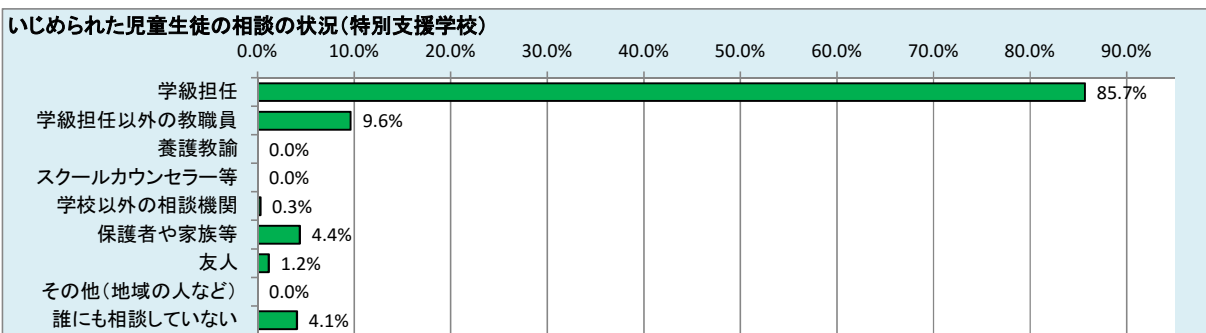
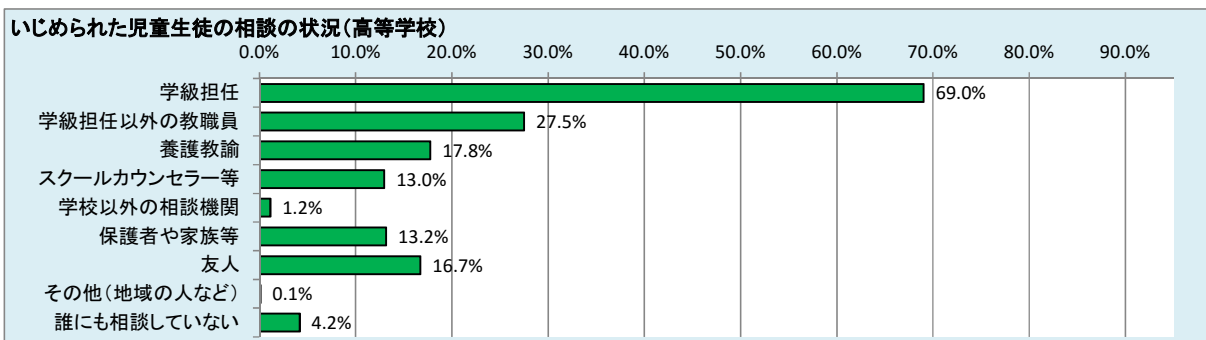
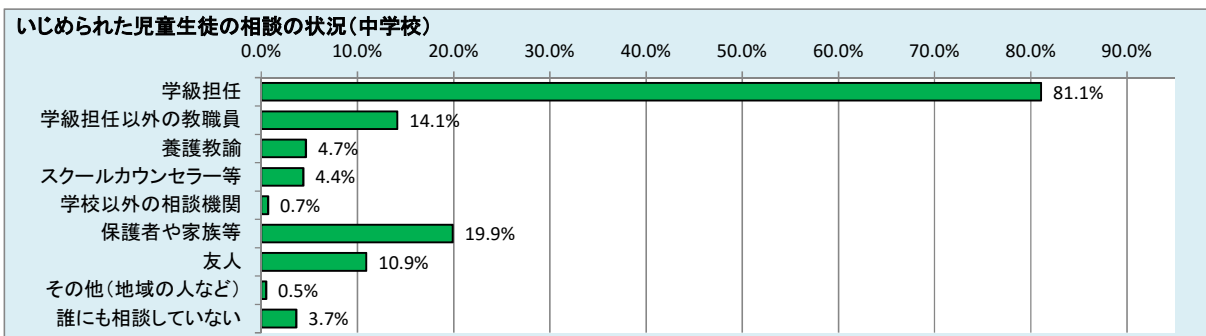
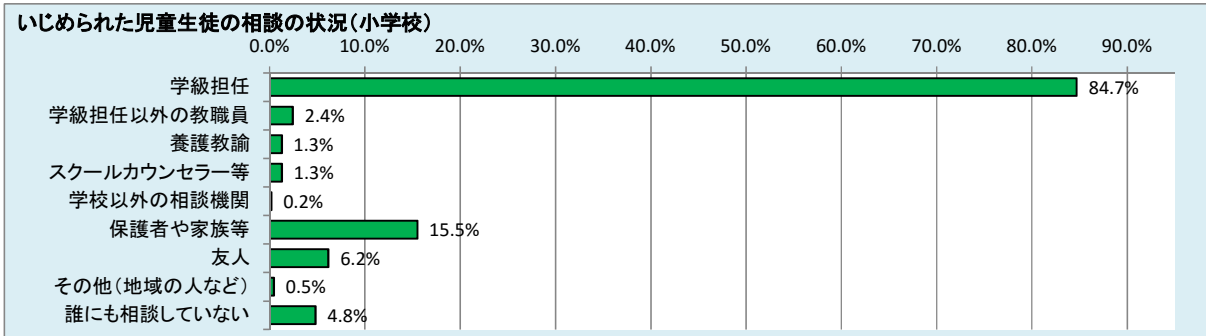
(認知件数: 小学校42,775件、中学校7,994件、高等学校956件、特別支援学校342件)

4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	36,230	6,481	660	293	43,664
学級担任以外の教職員	1,043	1,131	263	33	2,470
養護教諭	547	372	170	0	1,089
スクールカウンセラー等	553	349	124	0	1,026
学校以外の相談機関	84	57	11	1	153
保護者や家族等	6,638	1,592	126	15	8,371
友人	2,640	874	160	4	3,678
その他(地域の人など)	194	40	1	0	235
誰にも相談していない	2,064	292	40	14	2,410
計	49,993	11,188	1,555	360	63,096

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

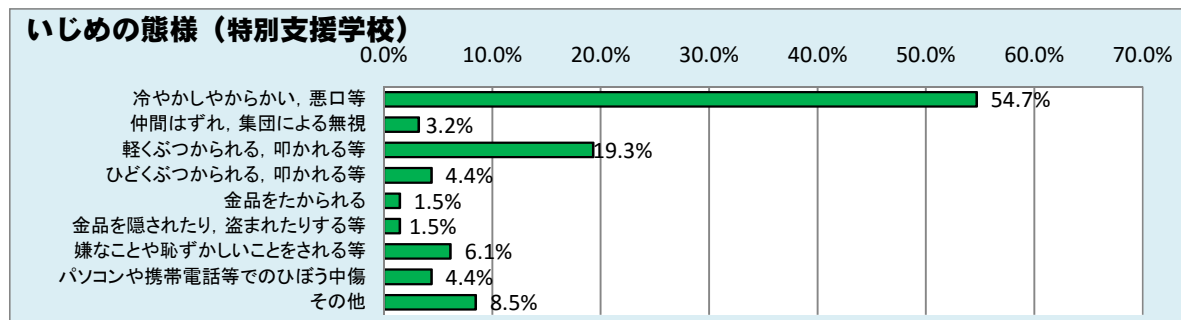
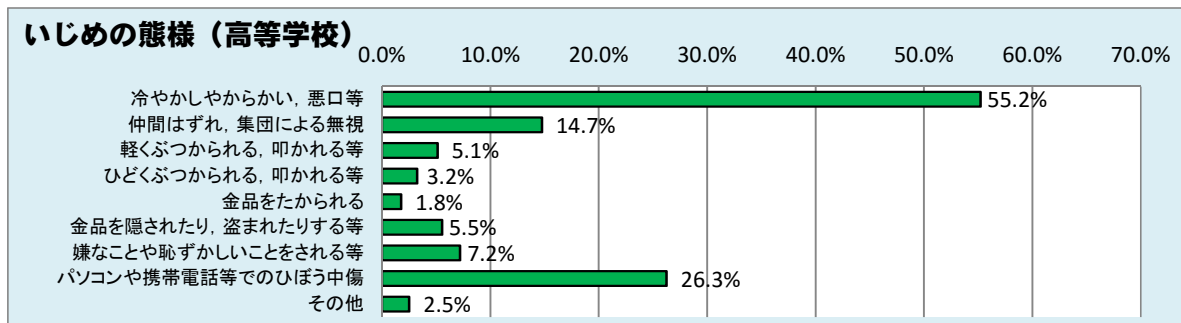
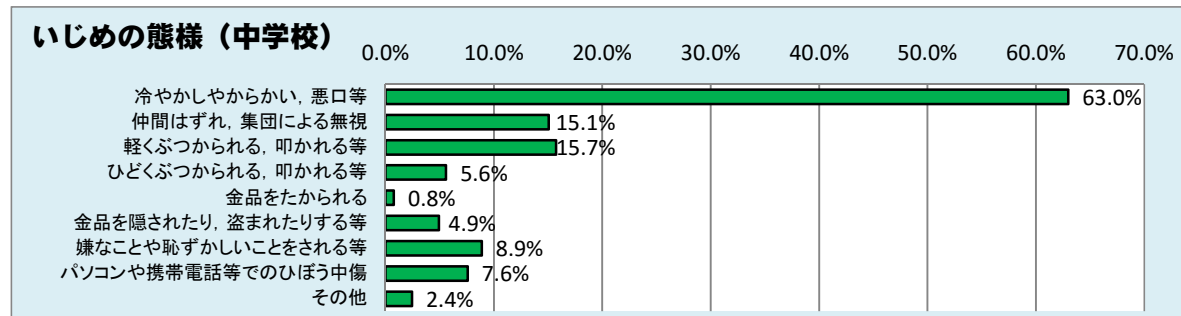
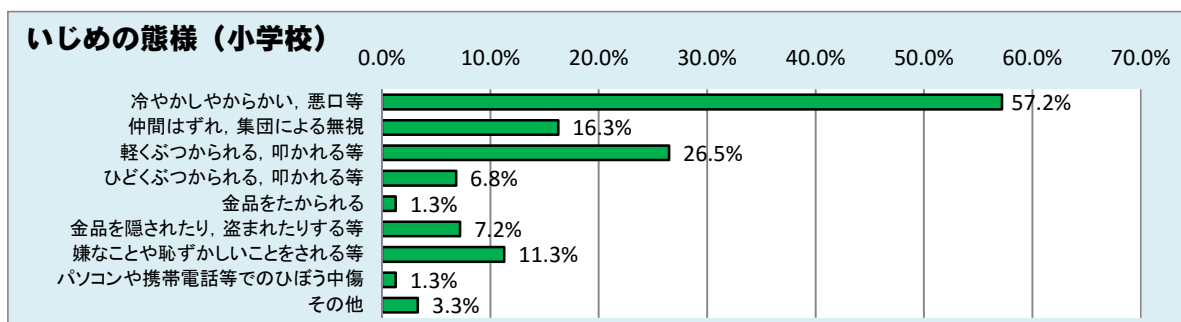
(認知件数:小学校42,775件、中学校7,994件、高等学校956件、特別支援学校342件)

5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	24,470	5,034	528	187	30,219
仲間はずれ, 集団による無視	6,955	1,204	141	11	8,311
軽くぶつかられる, 叩かれる等	11,324	1,258	49	66	12,697
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	2,927	446	31	15	3,419
金品をたかられる	542	62	17	5	626
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	3,084	394	53	5	3,536
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	4,824	710	69	21	5,624
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	541	606	251	15	1,413
その他	1,415	195	24	29	1,663
計	56,082	9,909	1,163	354	67,508

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校42,775件、中学校7,994件、高等学校956件、特別支援学校342件)